

受入団体名：公益財団法人草津市コミュニティ事業団

募集人数

プロジェクト/団体プログラム名：

もっと伝わる情報発信！NPO広報力Up大作戦

4名

<活動期間>

2025年10月1日～ 2025年12月26日 （活動日数：15日程度）

<活動パターン>

週1日程度 土・日・祝での活動が入る可能性あり

<活動の流れ>

| 日時 | 活動内容 |
|-----|--|
| 10月 | ①情報発信面で課題を抱える団体について事業団から解説ヒアリングするためのポイントの検討、日程調整 |
| | ②団体へのヒアリング、活動場所に訪問し活動体験も実施予定 |
| 11月 | ③課題に対する発信の方法や、活用する手段を検討する |
| | ④検討したアイデアを、事業団と団体に対しプレゼンし、作戦のブラッシュアップを行う |
| | ⑤作戦を決定し、発信媒体の具体的な製作にかかる |
| 12月 | ⑥コミュニティFMに出演し、シチスタで取り組んでいる内容を発信 |
| | ⑦発信媒体を完成させる |
| | ⑧制作した発信媒体を実際に公開し情報発信、効果を確認する |
| | ⑨ふりかえりと反省会 |

<主な活動場所>

キラリエ草津

（最寄駅：JR草津駅 徒歩5分）

<キャンパスからの交通手段>

公共交通、自転車・バイク可

<活動に必要な費用>

なし

<参加の姿勢>

草津市のまちづくり情報発信に関心がある方

<コミュニケーションの手段>

電子メール Facebook

LINE 電話

その他（zoom）

<活動のテーマと主な内容>

もっと伝わる情報発信！NPO広報力Up大作戦

●フードバンク活動を展開する団体の広報の問題を考え、解決策を検討する「中間支援」に取り組みます

草津市コミュニティ事業団は草津市内のまちづくりを様々な角度からサポートする「中間支援組織」です。

市内の市民活動団体の中には長く活発に活動が続ける団体も多い一方で、「メンバー募集していても増えない」「イベントを企画しても参加者が集まらない」といった広報が苦手な団体もあります。今年度は、広報面で課題をもつ団体として、草津市で活動中のフードバンク活動を行う団体に対し、活動内容や課題についてヒアリングした上で、団体の魅力や活動を効果的に発信する広報の作戦を団体側に提案し、団体側とも連携しながら実際に情報発信の活動に取り組んでいただきます。

●自由な視点や発想で、広報力UP作戦を立案し、発信活動に携わります

想定される広報手法や制作媒体は、SNS/動画/FM放送/記者提供/チラシ・カード・リーフレットなど紙媒体の製作の他、草津市政記者クラブへのプレスリリースの実施など。複数の手法を組み合わせるなどの手法も歓迎します。

チラシの印刷費など、費用がかかる手法については、可能か難しいかについて随時相談しながら進めていきます。

<活動する現場で学生が求められる背景(理由)>

●市民活動団体の中にはメンバーの高齢化や固定化が進んでいるところも少なくありません。そのような団体には柔軟な発想を持ちにくく、またSNSなど新たな技術や媒体・流行などに対し、疎くなったり敬遠する傾向もあります。大学生の柔軟な発想や、新しい手法を試してみるチャレンジ精神は、団体にとっても良い刺激となります。

●また、団体の中には質の高い活動をしながらも、情報を届けたい層のニーズを上手く捉えられず、最適な方法で情報を効果的に発信できていない場合もみられます。この活動では若い世代への情報発信や、大学生目線での課題分析・作戦提案を期待します。

<学生が期待できる学び>

●将来、まちづくり関係の仕事を目指したい方や、広報やメディア、放送業界に関心のある方にとっても、必要な人に必要な情報を届ける情報発信の業務について現場で学ぶことができます。

●普段触れることの少ない年齢世代や、異なる背景をもつ人たちとのコミュニケーションをとることで、多くの学びが得られます。

●草津のまちの課題に「中間支援」の立場で、解決に向けた活動に触れることができます。まちづくりに関する活動や業務の楽しさ・やりがいといった醍醐味を感じ取ることができます。また、国内の地域コミュニティの共通課題である「高齢化」「担い手不足」「事業や人材の硬直化」を現場で体感し、それらを乗り越えるための最新事例や方策について実地で学ぶことができます。

<活動紹介> もっと伝わる情報発信！NPO広報力Up大作戦

ヒアリング

- 団体に訪問しヒアリング（事業団も同行）

広報戦略を検討

- ヒアリング内容から団体の課題抽出・広報戦略検討（事業団助言）

団体側にプレゼン

- 検討した作戦を団体に説明
- 作戦のブラッシュアップ

広報物の制作

- 作戦の決定
- 広報物の制作（相談しながら）
- FMに出演して情報発信

[広報戦略の検討]



ふりかえり

- 発信の効果を確認する
- 今後の課題について意見交換（団体と一緒に）

情報発信

- 制作した広報物で実際に情報発信
- ※ 広報物・データは団体側に贈呈

[団体へのプレゼン]

